テーマⅡ	**本市における６３０問題を考える**
意見交換のテーマ内容	静岡県内における６３０事案の半数近くが富士医療圏で発生しており、そのうちの軽症・中等症の割合は年々右肩上がりに増えています。 救急車の適正利用を含め、富士市の医療の今と未来をみんなで考えてみませんか。
市民の意見等	・医師不足なので、市が医師を確保できる制度をつくる。 ・国、県、市としっかり連携してほしい。市のみで解決できない課題は県へ要求をすること。 ・東西中部と県民税は同じだと思うが、医療は西部、次に中部が充実していて東部は低い。 ・まずは＃7119に電話をするよう市民理解を進めていくため、病院や市役所等にポスター等で啓発する。 ・＃7119の周知と24時間利用できるようにする。 ・緊急性が高い場合、改めて119を通報させるのではなく、＃7119側から119へ直接連絡し、すぐに連携できるようにしてほしい。 ・救急車利用に関する講座を実施する。 ・受入体制を広げるには救急対応できる病院を増やす必要がある。 ・病院を建てるのは費用が莫大にかかるから、診療所を増やしていくとよいと思う。
要望・提言等（まとめ）	●要望 １．市民へ周知と啓発 ・６３０問題について ・＃7119について ２．市民教育（企業含む） ・119に通報する前にできること。 ・救急利用に関する講座を実施すること。 ●提言 ・ＡＥＤ、救護の講習を会社や組織に一定数持つことを義務化する。 ・病院を建てるのは費用が莫大にかかるため、診療所を増やす。 ・公共交通の整備 ・救急車の不適切利用は料金を取ることを検討する。 ・命を救うという観点から、病院、市民、企業に何ができるのか考え冊子にまとめる。 ・新しく建設する中央病院に救急外来を設置する。